

# 作品番号019-1



## ■設計コンセプト

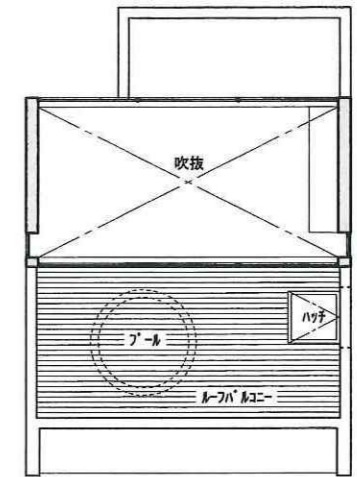
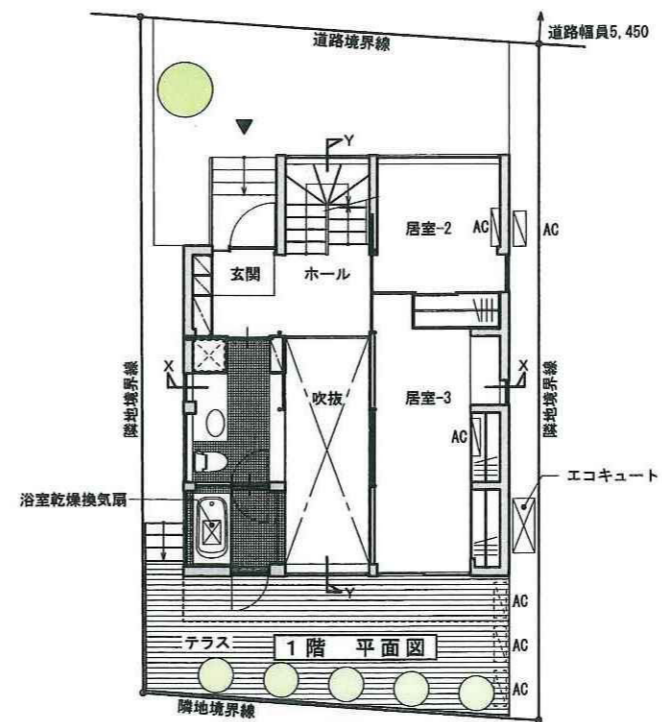
敷地は緑豊かな洗足池公園から程近い風致地区の閑静な住宅街にあるが、北側を除く3方が住宅に囲まれた採光条件には恵まれない土地であった。こうした条件の中で充分な外部テラス、趣味の読書室等を持った明るく開放的で熱的な性能も備えた家がテーマとなった。

読書室は容積緩和を一部受けた地階に設け、この地階のポテンシャルを高めることで建物全体の温熱環境も整えることを考えた。地階、1階、2階の3層にR階(屋上)を加え、4層の断面の中で、空間の連続性と明るいインテリア・エクステリアの獲得を目指した。読書室のある地階は1階に設けられた吹抜けと一体になることで、地階はあたかも1階と等価の日照条件を得、RC躯体を熱容量とした深夜電力利用の蓄熱式床暖房が地階・1階だけでなく2階床までも暖めることに役立っている。

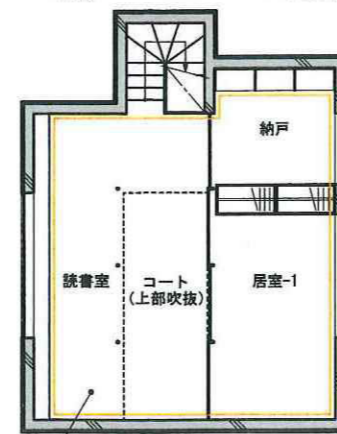
各階に設けられた3つの外部空間は光・緑・風を室内に呼び込み、食事や読書スペースとして利用され、屋上テラスには夏の間プールが設置された。

この住宅は東、西からの日照確保ができず、南北を開放するために木造の一方向ラーメンを採用したオール電化住宅である。

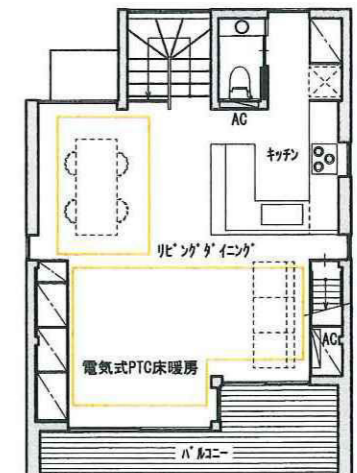
オレンジの枠内は床暖房を示す。



R階 平面図



地下1階 平面図



2階 平面図



S=1:150

# 作品番号019-2



# 作品番号019-3



階段よりリビングをみる



ホール・階段

洗面・浴室

## ■デザイン性

前面道路に対して積極的な住まいの風景を提供した。

住宅街にふさわしいスケールとボリュームになるように建物は前面と奥のふたつの部分に分けられ、前面の軒高を低く抑え、さらに開口部は道行く人の視線と呼应するように高さ、配置を決定した。

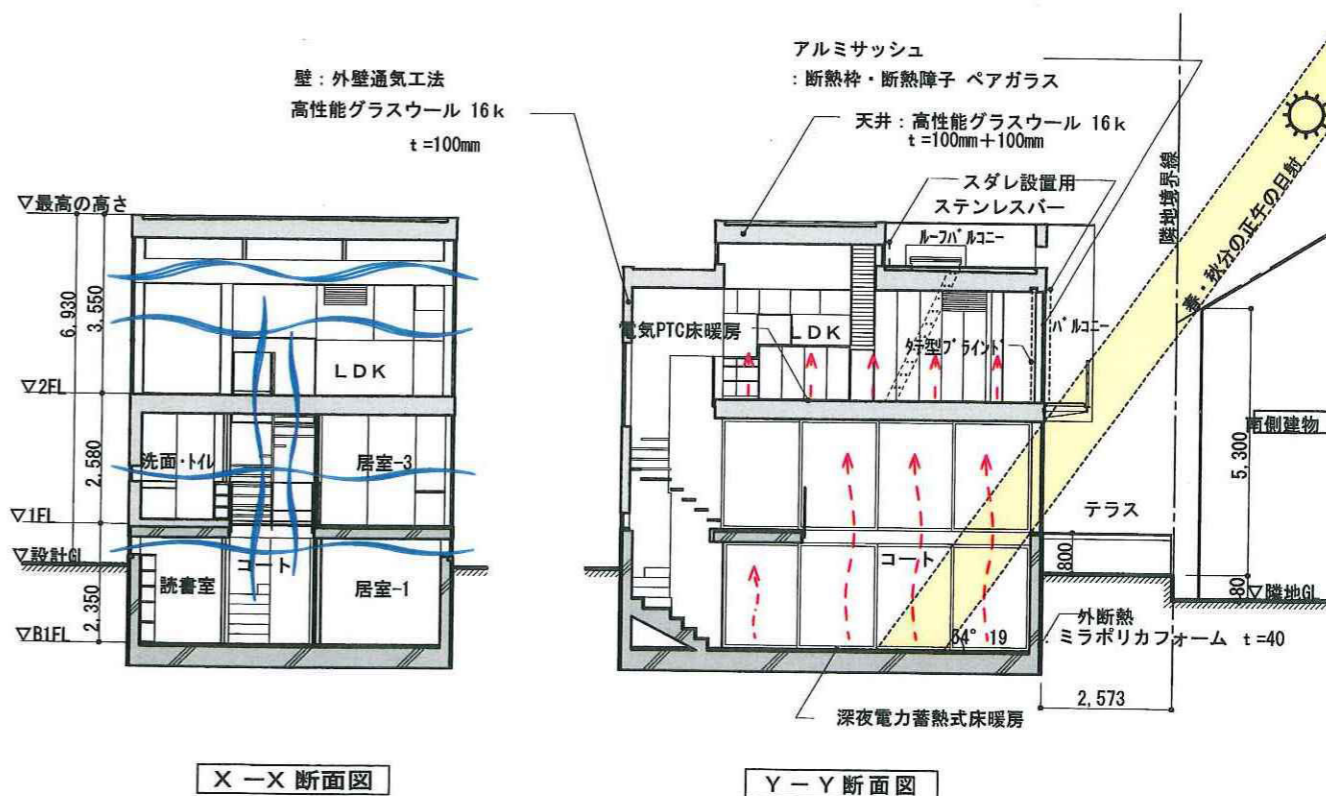
## ■省エネルギー性・環境性

深夜電力を利用した蓄熱式床暖房と電気のヒートポンプ給湯機により、省エネルギーとランニングコストの削減を目指した。また、IHクッキングヒーターを採用したオール電化住宅とすることで、空気環境と安全面も含めた快適な居住性を実現した。地下躯体は蟻道を作らないミラポリカフォーム40mm、による外断熱、壁は高性能グラスウール16K・100mm、天井（屋根）は16K・100mm+100mmの高断熱とした。

開口部はアルミサッシ断熱枠、断熱障子、ペアガラスとし、南面には日射遮蔽用のスタレ取り付けバーを設け内側には日射コントロールのしやすい縦型ブラインドを設置している。

また、容積緩和を受けた地下室と窓のある容積算入地下室（コート）を一体にすることで、ドライエリアを必要としない快適な地下の住環境を実現した。

コートの窓は春・秋分の日射が地下室を照らすように配置・高さが決定されている。



X-X 断面図

Y-Y 断面図